

## 今年も賑やかに！

Very exciting party!

## —都市デザイン研 2010 年忘年会—

-The year-end party of the lab. in 2010-

text\_yasukawa

教師陣、学生陣、OB・OG、皆がお酒と料理を囲み一同に会する一年に一度のこの夜は、都市デザイン研にとって、とても貴重な時間。飲んで、笑って、語り合っ、賑やかな宴は朝まで続きました。

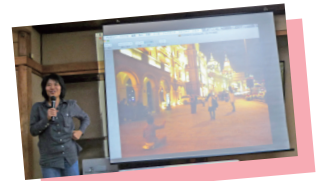
The night when professors, students and OB&OG get together is very precious for the lab. members. With drinking, laughing and talking, the party had lasted until morning.



▲ 鳳明館にて。中締め後の集合写真。



▲ 毎年恒例、本をめぐるじゃんけん大会



▲ 窪田先生は上海の写真

今年も毎年恒例の都市デザイン研究室忘年会が 12 月 15 日 (水) 鳳明館で行われ、OBOG の方々をはじめ約 80 名もの皆様にご出席いただき、2010 年を締めくくるに相応しい盛大な宴の席となりました。幹事という立場上アルコールは程々に、忘年会の会場全体を眺めていると、かつての学友達と会話に花を咲かせる姿、初めてお会いする先輩のお話真剣に耳を傾ける姿、改めて研究室の同志で交流を深める姿等、多くの笑顔と共に様々なドラマが会場内の至る所で繰り広げられている様子に、代を超えた

人々の多様さ、結束力の高さを垣間見ることが出来ました。

また今年も、各々が好きな都市を写した写真をもとにスピーチをするという新企画が。改めて研究室の皆様のまちに対する関心の高さおよび愛着の深さを感じることができ、その真剣さに脱帽したと同時に身の引き締まる思いでした。拙い進行のもとでの忘年会ではありましたが、来年を迎えるにあたり、皆様にとって気持ちを新たにすることに有益な時間であったことを心から願っております。ありがとうございました。

## 留学生お宅訪問 第 6 回 M1 李 峰浩

Let's visit foreign student's home! vol.6 M1 Lee Bongho

約 3 年ぶりとなる留学生お宅訪問企画！ Vol.66 (2008 年 1 月 10 日発行) 以来です。今回は、本郷から自転車で 40 分程の穏やかな団地の一室、M1 李 峰浩くんのお宅にお邪魔しました。

text\_yabuki

11 月 27 日 (土)、マガジン編集部による留学生お宅訪問 in 李 峰浩宅に行きました。初めて乗る日暮里舎人ライナーに興奮しながら、李夫妻の暮らす団地へ。お宅では奥様が暖かく出迎えて下さいました。この日は M1 の忘年会も兼ねた会で、李夫人 (南さん) による豪華な手料理の数々でおもてなし頂きました。日頃外食ばかりの M1 は美味しい韓国料理に大感激でした。

南さんは峰浩くんの大学の先輩で (詳しい馴れ初めは峰浩くんにお聞きください) 結婚して 2 年半だそう。とても優しく可愛らしい方でした。スカイツリーも見える日当たり抜群のお部屋で、たくさんの料理に舌鼓を打った M1 一同。昼に始まった会は気がつくくと夕方になり、夜になり…最後は次の日に誕生日を迎える村本くんの誕生日祝いまで行いました。李君、南さん、ありがとうございました。(美味しいお料理、ごちそうさまでした。)

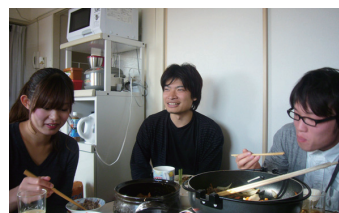
サムギョブサル



キムパツ



パースデーケーキ



▲ おいしい料理に釘付けの M1 一同



▲ 李夫妻の笑顔

## 日本全国 OB・OG めぐり 第7弾!

## Lab's OB,OG tour all over Japan vol.7!

今回は UDCK 副センター長の三牧浩也さん(平成13年修了)です。  
This time is Mr.Hiroya Mimaki who is the deputy head of UDCK.

この4月にUDCKに席を構えて早半年。何よりも実感しているのは、北沢先生が作られたこの不思議なハコを持つ「包容力」の大きさです。UDCKを取り巻く公民学それぞれの主体から、立場を超えて出てくる様々な企画や要望をUDCKが受けとめ、スタッフを中心に関係者を巻き込みながら、イベントや実証実験、参加型プログラムなどの取り組みが生まれ、育っていき、このサイクルこそ、UDCKに込められた意味なのだろうと感じます。そのベースにあるのは、施設の包容力であり、組織の包容力であり、人の包容力。これを維持するのは、なかなかの難題です。

私は、都市デザイン研を出て10年、都市コンサルでいくつかの開発プロジェクトや国の制度検討などに携わってきましたが、UDCKの環境は、これまでと比べても刺激的で、また人のつながりのなかで仕事をするアーバンデザインの醍醐味があります。常に主体であり第三者でもないといけなないので、ときに自分が何者かわからなくなるのが悩みですが…。

皆さんご存知(?)のとおり、UDCKは9月にTXを挟んだ反対側に装い新たに移転オープンしました。是非、新しい施設の見学も含め、柏の葉にいらしてください。



三牧浩也さん(千葉県)



▲ 9月に移転した UDCK 新施設



▲ 11月の環境フォーラム2010の様子

## プロジェクト報告

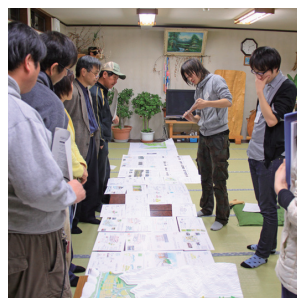
## ワークショップの冬

## Workshops in winter.

調査・社会実験をふまえた住民の方々とのやりとり。  
熱のこもった議論に改めて刺激を受け、  
各PJは年度末に向けて一直線です!

高山 TAKAYAMA-project  
プロジェクト

M1 高見 亮介



▲ 地元の若手の方々とのWS

12月4日から6日にかけて、WSと補足調査をかねて岐阜県高山市荘川町一色惣則集落へ現地調査に行ってきました。今回のWSのメインテーマは、集落の資源を活かし(守り)ながら、住み続けていくためには何をしたら良いのか、を住民の方々から引き出すことでした。そのためのツールとし

て1:1500の模型と27枚のアイデアカードを制作し、これまでの調査結果のまとめとして水路網のマップと連続立面図等を作成しました。

出発のぎりぎりまでWSの準備に追われていましたが、その甲斐あって議論は多いに盛り上がり、非常に有意義なWSになりました。「鉄は熱いうちに打て」ということで、次のステップを見据えて、きっちりまとめていきたいと思えます。

足助 ASUKE-project  
プロジェクト

text\_maekawa



▲ 議論の後、住民の方による発表

12月8日(水)、11月の社会実験「あすけうちめぐり」を協同開催した地元の方々からなる組織「まちづくり部会」と、うちめぐり反省会を開催しました。当日はオブザーバーとして市の方々や地元で活動されている方々もお招きし、足助にある蕎麦屋さんを貸し切って行いました。

スライドにより実験を振り返った後は、3つのチームに分かれワークショップ開始。社会実験を受け、「地域資源の活用」「観光マネジメント」「空家空き店舗活用」について話し合いました。短時間でしたが、町の方々各人が何を考えているかが垣間見えた良い機会となりました。ワークショップ後には宴会が深夜まで続き、いつもの足助訪問とはひと味違う濃密な時間を過ごしました。今後は年度末のまとめに向けて、邁進して行きます!

## information

## 1月の予定

- 12月28日-1月10日 ルンビニPJ現地調査
- 1月11日 2010年度第13回研究室会議@8階会議室
- 1月13日 2010年度第14回研究室会議@144講義室
- 1月24日 2010年度第15回研究室会議@8階会議室

## ✦ 編集後記

安川 千歌子

本年もマガジンのご愛読とご協力、ありがとうございました。野原先生中島先生研究室訪問、宮下公園の見学など、たびたびあるマガジン編集部企画ですが、来年は何をしようかという妄想してはわくわくしています。企画提案、参加希望等ございましたら、お近くのマガジン編集部スタッフまで是非お願いします。来年も都市デザイン研マガジンをよろしくお願い致します!